

酌來茗飲多清韻  
談到圖書得異聞

成家  
煤澤美奈

酌來茗飲多清韻  
談到圖書得異聞

成家  
田嶋春湖

酌來茗飲多清韻  
談到圖書得異聞

成家  
内梨櫻舟

酌來茗飲多清韻  
談到圖書得異聞

成家  
松原華月

酌來茗飲多清韻  
談到圖書得異聞

師範正  
榎藤陽子

酌來茗飲多清韻  
談到圖書得異聞

師範正  
尾崎和葉

酌來茗飲多清韻  
談到圖書得異聞

師範正  
角大鳥居芙美

酌來茗飲多清韻  
談到圖書得異聞

師範正  
坂本華風

酌來茗飲多清韻  
談到圖書得異聞

師範  
新竹麗月

酌來茗飲多清韻  
談到圖書得異聞

師範  
池末道子

酌來茗飲多清韻  
談到圖書得異聞

準六段  
玉ノ井有美

酌來茗飲多清韻  
談到圖書得異聞

準五段  
川村美華

方期戡穀何圖逆賊間  
豐稱兵犯順尔父竭誠

師範  
池田 静玉

方期戡穀何圖逆賊間  
豐稱兵犯順尔父竭誠

師範正  
平田 春蓉

方期戡穀何圖逆賊  
間豐稱兵犯順

師範正  
岡 由香里

方期戡穀何圖逆賊間  
豐稱兵犯順尔父竭誠

師範正  
佐藤 銀川

方期戡穀何圖逆賊間  
豐稱兵犯順尔父竭誠

成家  
永友 美鳳

方期戡穀何圖逆賊間  
豐稱兵犯順尔父竭誠

成家  
小村 佳将

方期戡穀何圖逆賊  
間豐稱兵犯順尔父

五段  
長野 誓子

方期戡穀何圖逆賊間  
豐稱兵犯順尔父竭誠

六段  
楠田 篁明

方期戡穀何圖逆賊  
間豐稱兵犯順

師範  
佐田 理子

方期戡穀何圖逆賊間  
豐稱兵犯順尔父竭誠

師範  
中村 藍雲

方期戡穀何圖逆賊間  
豐稱兵犯順尔父竭誠

師範  
田原 綾泉

方期戡穀何圖逆賊  
間豐稱兵犯順

師範  
神尾 理恵



師 範  
永 谷 瑤 春

師 範  
德 永 直 恵

師範正  
鹿毛純光

師範正  
登本花徑

師範正  
小 野 清 舟

師範正  
石田千弓



三段  
浦志春月

準師範  
松崎雅子

準五段  
小 森 香 遠

師範  
鎌田敬子

師範  
副島真知子

師 範  
岩 谷 翠 岱



準四段  
野見山 櫻 里



六 段  
立和田 美 穂



師範正  
川久保 由香里



師範正  
上津原 踏 月



師範正  
竹 本 松 華



師範正  
園 田 輝 美



小5.準三段  
福 尾 柚 巴



小4.準1級  
樋 口 心 絆



小4.準初段  
松 岡 来 実



小3.6級  
夏 迫 実 梨



小3.2級  
黒 岩 真 央



小2.7級  
荒川りょうや



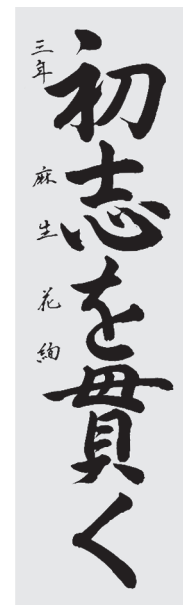
小2.4級  
加とうみずき



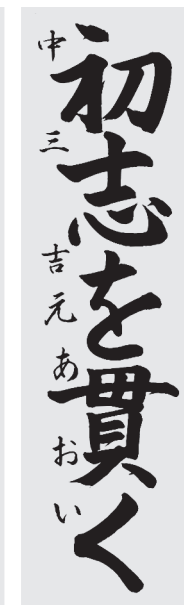
中1.準六段  
大 月 悠 生



中2.準特待生  
北 村 そよ薫



中3.特待生  
麻 生 花 絢



中3.特待生  
吉 元 あおい



小6.準特待生  
豊 田 蓮 音



小6.六段  
大 島 綾 乃



小5.準2級  
川 原 朱 璃

半紙規定優秀作品 (5月30日締切分)



師範正  
岩井翠雲

師範正  
岡紅華

師範正  
古田薫風

師範正  
池本尚子

師範正  
上津原踏月

師範正  
山口裕華

成家  
玉見光華



師範  
久保象雲

師範  
中島和子

師範  
平岡成子

師範  
深蔵幸子

師範  
鮎川香翠

師範  
福澤真蘭

師範正  
小野清舟



準六段  
石川大雅

六段  
遠藤秀子

六段  
久富啓介

六段  
樋口祥子

準師範  
川野希實

準師範  
濱崎秀代

準師範  
住田紫苑



準五段  
田中富美子

準五段  
吉田建芳

準五段  
坂田加代子

五段  
柳原由美

五段  
横田蓮華

準六段  
松尾花馨

準六段  
手島朋香



準三段  
吉崎江扇

準三段  
早川利恵

三段  
庄司悦子

三段  
山科千珠

準四段  
倉光純子

四段  
緒方真紀子

四段  
増田紫音



4級  
坪井純子

準1級  
吉田米子

初段  
西田美穂

準二段  
岸川麻央

二段  
古賀弘美

準三段  
今井厚美

準三段  
加峰慶咲

半紙随意・半紙随意(臨書)優秀作品 (5月30日締切分)



師範  
中村浩子

師範  
植橋篤子

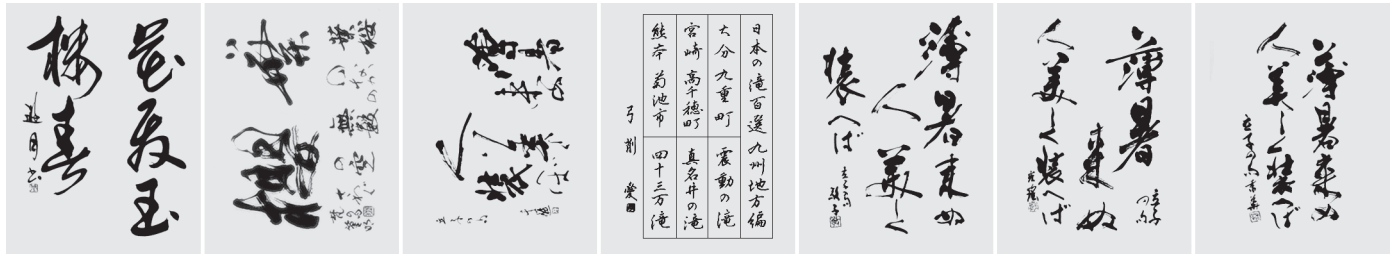
師範正  
力岡紫烽

師範正  
川野藍秀

師範正  
福田喜久恵

師範正  
服部典子

成家  
峰雪



準六段  
冷川遊月

六段  
楠田篁明

六段  
古場千藍

準師範  
弓削愛

準師範  
鎌田敬子

師範  
實政光瑤

師範  
三好香華



準三段  
柳原由美

三段  
林千鶴子

準四段  
藪田和代

四段  
安倍佳子

準五段  
川村美華

準五段  
奥村直美

五段  
野田春晃



2級  
末延美恵子

準1級  
後藤蓮果

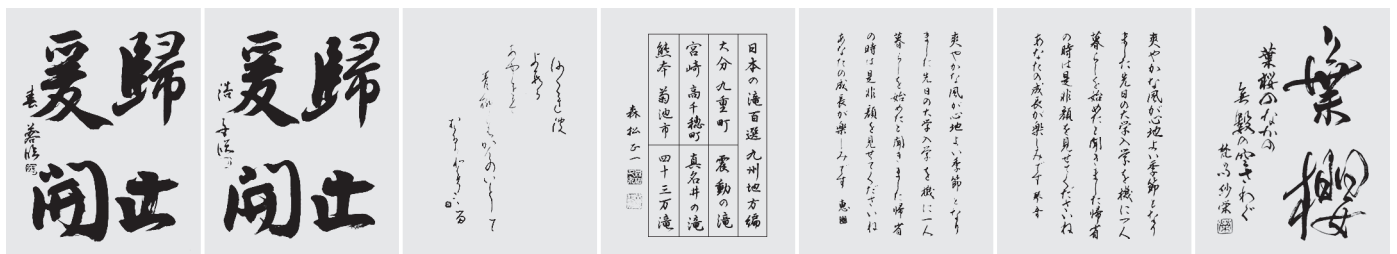
1級  
久保則子

準初段  
岡崎早苗

二段  
富安裕子

準三段  
緒方明美

準三段  
小林真喜子



師範正  
平田春蓉

成家  
阪井浩子

8級  
石松かおり

7級  
森松正一

準6級  
城戸恵

5級  
鹿毛琴音

4級  
永尾紗栄



準師範  
北崎麗香

師範  
穴見沙緒里

師範  
佐田理子

師範  
早川星邦

師範  
福沢由美子

師範正  
大谷千里

師範正  
角大鳥居美実

半紙随意 (臨書)・一般(硬筆)優秀作品 (5月30日締切分)



四 段  
片山留美

準5段  
園山広子

準5段  
福本真理

五 段  
福谷朝美

五 段  
桑鶴公子

六 段  
檜原鳳苑

六 段  
立和田美穂



1 級  
原田照予

初 段  
田中春好

準3段  
森永千秋

準3段  
篠原明珠

準3段  
荒井桜華

準4段  
田中美優

準4段  
網中和陽



8 級  
星野紗耶加

7 級  
高橋喜久子

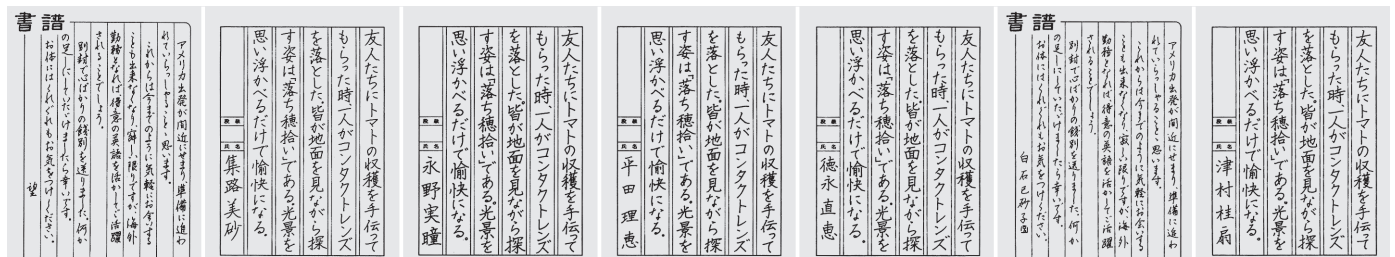
5 級  
甲斐智海

準4級  
堀口啓子

4 級  
松崎理絵

準3級  
金石みのり

準2級  
葭田早紀



準5段  
湯谷望

5 段  
集路美砂

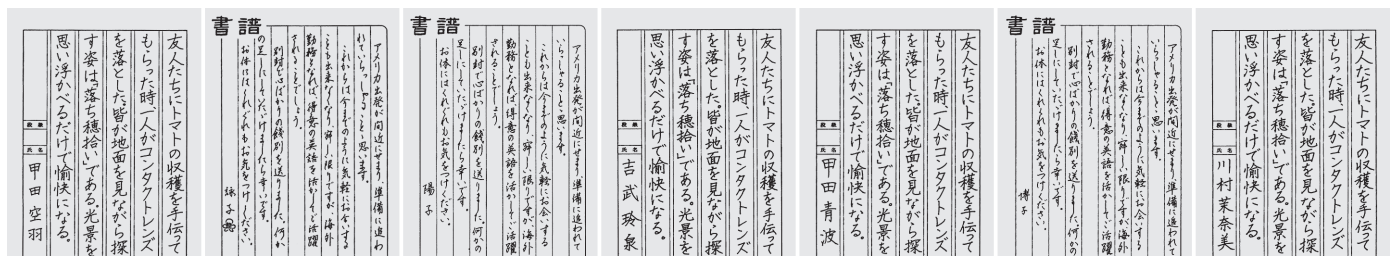
準6段  
永野実瞳

6 段  
平田理恵

師 範  
徳永直恵

師範正  
白石巳砂子

師範正  
津村桂扇



2 級  
甲田空羽

1 級  
大月詠子

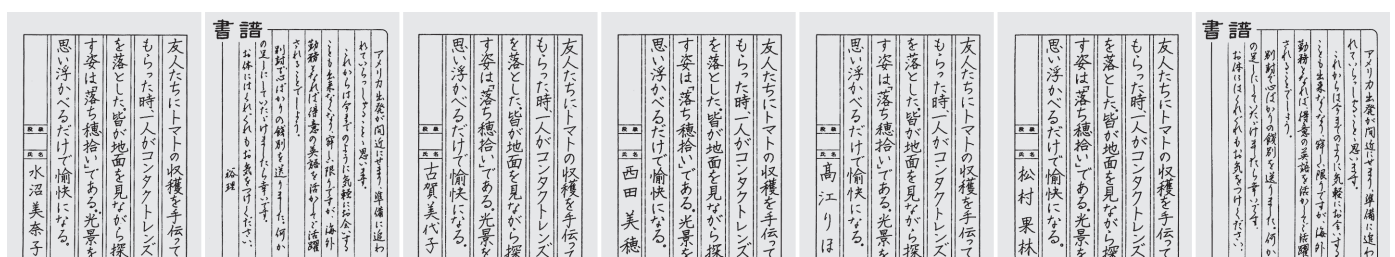
準2段  
山田陽子

準3段  
吉武玲泉

準3段  
甲田青波

準3段  
金子博子

四 段  
川村茉奈美



準6級  
水沼美奈子

5 級  
中辻裕理

4 級  
古賀美代子

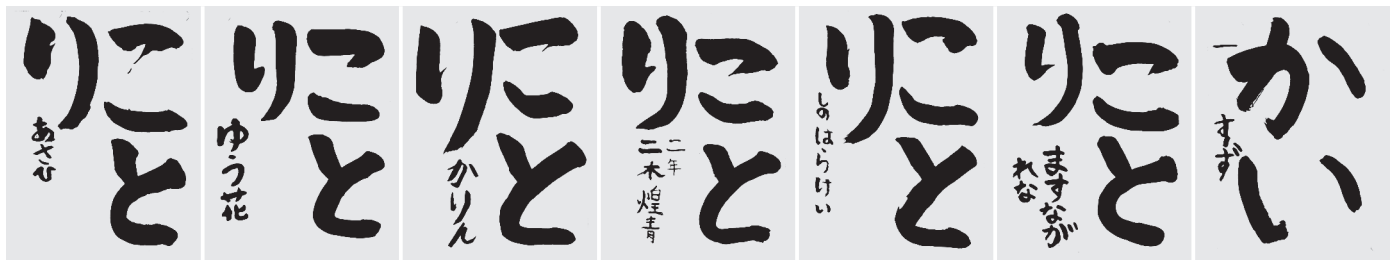
準3級  
西田美穂

3 級  
高江りほ

準2級  
松村果林

2 級  
境千保美

半紙優秀作品 (5月30日締切分)



8 級 山本 あさひ  
7 級 かや場ゆう花  
準6級 とみ田花りん  
準5級 二木 煌 青  
5 級 しのはらけい  
準4級 ますながれな  
準8級 久保井 すず



6 級 近藤 葵  
準4級 劉 羽 舒  
4 級 善家 颯 人  
3 級 黒川 咲 季  
2 級 吉澤 侑 希  
二 段 片山 莉 緒  
準8級 余村 和 奏



8 級 清 祐 七 愛  
8 級 上 杉 知紗都  
準7級 うら すい な  
準7級 渡 き か  
7 級 原 本 幸 采  
準6級 早 川 知 沙  
6 級 姫 野 友 鈴



3 級 増田 絢 瞳  
3 級 小 関 澄 春  
準1級 高田 紗 愛  
準初段 松岡 来 実  
初 段 糸 川 咲 季  
二 段 坂 東 未 織  
準三段 野 柴 菜々珠



準8級 九 後 ひなの  
7 級 西 亮 人  
6 級 宮 崎 美 月  
6 級 田 中 愛 乃  
6 級 高 内 雪 乃  
4 級 城 山 琴 羽  
準3級 原 綾 音



準初段 黒 岩 和 史  
初 段 古 賀 みち子  
準二段 井 口 澤  
二 段 矢 野 ひかり  
準三段 藤井さくら子  
三 段 越 崎 晴 香  
四 段 八 鍬 史 佳

半紙優秀作品 (5月30日締切分)

|                  |                  |                  |                   |                   |                    |                  |
|------------------|------------------|------------------|-------------------|-------------------|--------------------|------------------|
| いふ<br>友る<br>菜奈   | いふ<br>友る<br>未鈴   | いふ<br>友る<br>千陽   | いふ<br>友る<br>三宅知花  | いふ<br>友る<br>杏実    | いふ<br>友る<br>五年田下楓乃 | いふ<br>友る<br>航輝   |
| 準4級<br>西 菜奈      | 4級<br>松 藤 未 鈴    | 準3級<br>石 田 千 陽   | 3級<br>三 宅 知 花     | 2級<br>川 野 杏 実     | 準1級<br>田 下 楓 乃     | 1級<br>寺 井 航 輝    |
| 六年<br>街角<br>富田美優 | 六年<br>街角<br>山田寛奈 | 六年<br>街角<br>今野瑞月 | 街角<br>芽依          | 六年<br>街角<br>結 菜   | 小六<br>街角<br>大島綾乃   | 六年<br>街角<br>野田祐佳 |
| 準四段<br>富 田 美 優   | 四 段<br>山 田 寛 奈   | 準五段<br>今 野 瑞 月   | 五 段<br>橋 本 芽 依    | 五 段<br>渡 邊 結 菜    | 六 段<br>大 島 綾 乃     | 準特待生<br>野 田 祐 佳  |
| はい<br>歌ろ<br>梓    | 小六<br>街角<br>葉子   | 六年<br>街角<br>白石葉菜 | 六年<br>街角<br>竹田 絢  | 街角<br>谷 日万莉       | 小六<br>街角<br>愛 佳    | 小六<br>街角<br>牟田知未 |
| 特待生<br>木 山 梓     | 1級<br>寺 本 葉 子    | 準初段<br>白 石 葉 菜   | 準二段<br>竹 田 絢      | 二 段<br>谷 日万莉      | 準三段<br>池 田 愛 佳     | 三 段<br>牟 田 知 未   |
| はい<br>歌ろ<br>麻央   | はい<br>歌ろ<br>渚    | はい<br>歌ろ<br>更紗   | はい<br>歌ろ<br>悠生    | はい<br>歌ろ<br>舞香    | はい<br>歌ろ<br>楓実     | はい<br>歌ろ<br>桜    |
| 準四段<br>川 本 麻 央   | 五 段<br>末 崎 渚     | 準六段<br>時 永 更 紗   | 準六段<br>大 月 悠 生    | 六 段<br>南 舞 香      | 準特待生<br>坂 元 楓 実    | 準特待生<br>玉 置 桜    |
| 中三<br>初志<br>上野華音 | 庄野<br>初志<br>加蓮   | 三年<br>初志<br>花 絢  | 三年<br>初志<br>高橋愛葉  | 中三<br>初志<br>津日向子  | はい<br>歌ろ<br>結愛     | はい<br>歌ろ<br>奈緒   |
| 六 段<br>上 野 華 音   | 準特待生<br>庄 野 加 蓮  | 特待生<br>麻 生 花 絢   | 特待生<br>高 橋 愛 葉    | 特待生<br>野 津 日 向 子  | 準三段<br>榎 藤 結 愛     | 準四段<br>東 奈 緒     |
| 中二<br>初志<br>松藤夕奈 | 中二<br>初志<br>岩永澄空 | 初志<br>仁絆         | 中三<br>初志<br>山口にいな | 中三<br>初志<br>木村彩笑子 | 二年<br>初志<br>鹿村柚葉   | 山下<br>初志<br>瑞葉   |
| 4級<br>松 藤 夕 奈    | 初 段<br>岩 永 澄 空   | 準三段<br>古 賀 仁 絆   | 準四段<br>山 口 に い な  | 準五段<br>木 村 彩 笑 子  | 五 段<br>鹿 村 柚 葉     | 準六段<br>山 下 瑞 葉   |

# 硬筆優秀作品（5月30日締切分）

|               |                |              |               |                |                |                 |
|---------------|----------------|--------------|---------------|----------------|----------------|-----------------|
| <p>孫 やすお</p>  | <p>石橋 ほんのか</p> | <p>村田 花央</p> | <p>堀 愛和</p>   | <p>かわもと りお</p> | <p>後藤 れいな</p>  | <p>笹原 りょうせい</p> |
| <p>井之上 芽衣</p> | <p>山中 唯愛</p>   | <p>柏井 香穂</p> | <p>清成 なな子</p> | <p>高村 宗助</p>   | <p>金しろ れいな</p> | <p>石井 はな</p>    |
| <p>早川 知沙</p>  | <p>いずみ みう</p>  | <p>山田 佳歩</p> | <p>井上 かな</p>  | <p>沢田 鈴葉</p>   | <p>山田 千鈴</p>   | <p>福田 みう</p>    |
| <p>野田 郁実</p>  | <p>秀島 美子</p>   | <p>梅野 しほ</p> | <p>藤木 那月</p>  | <p>足利 桃杏</p>   | <p>三原 悠喜</p>   | <p>芦原 拓翔</p>    |
| <p>中島 えま</p>  | <p>小関 澄春</p>   | <p>山田 怜奈</p> | <p>永松 杏</p>   | <p>河野 紗南</p>   | <p>坂東 未織</p>   | <p>阿部 千明</p>    |
| <p>八鍬 史佳</p>  | <p>溜 いろは</p>   | <p>糸永 直葉</p> | <p>上保 春瑠</p>  | <p>水さき 花</p>   | <p>田中 愛乃</p>   | <p>川嶋 遙</p>     |

# 硬筆優秀作品（5月30日締切分）

|                                                                                                     |                                                                                                     |                                                                                                      |                                                                                                     |                                                                                                     |                                                                                                       |                                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>そのときだった。なんて顔してんの。土田君が話しかけてきたのだ。土田君とは家が近所で、小さいころからずっといっしょに遊んでいた。</p> <p>五 年 梅野優茄</p>              | <p>そのときだった。なんて顔してんの。土田君が話しかけてきたのだ。土田君とは家が近所で、小さいころからずっといっしょに遊んでいた。</p> <p>準初段 平田まみ</p>              | <p>そのときだった。なんて顔してんの。土田君が話しかけてきたのだ。土田君とは家が近所で、小さいころからずっといっしょに遊んでいた。</p> <p>初 段 黒岩和史</p>               | <p>そのときだった。なんて顔してんの。土田君が話しかけてきたのだ。土田君とは家が近所で、小さいころからずっといっしょに遊んでいた。</p> <p>準二段 井口 滯</p>              | <p>そのときだった。なんて顔してんの。土田君が話しかけてきたのだ。土田君とは家が近所で、小さいころからずっといっしょに遊んでいた。</p> <p>二 段 山下 藤一朗</p>            | <p>そのときだった。なんて顔してんの。土田君が話しかけてきたのだ。土田君とは家が近所で、小さいころからずっといっしょに遊んでいた。</p> <p>二 段 山下 菜乃海</p>              | <p>そのときだった。なんて顔してんの。土田君が話しかけてきたのだ。土田君とは家が近所で、小さいころからずっといっしょに遊んでいた。</p> <p>二 段 木下 源士郎</p>            |
| <p>今、言わなきゃ、きつと二度と言えない。ぼく、晴れが好きだけれど、たまには雨も好きだ。勇気をふりしぼったわりには、しどろもどろのたよりない声が出た。</p> <p>五 段 田村 紗菜</p>   | <p>今、言わなきゃ、きつと二度と言えない。ぼく、晴れが好きだけれど、たまには雨も好きだ。勇気をふりしぼったわりには、しどろもどろのたよりない声が出た。</p> <p>準六段 山田 寛奈</p>   | <p>今、言わなきゃ、きつと二度と言えない。ぼく、晴れが好きだけれど、たまには雨も好きだ。勇気をふりしぼったわりには、しどろもどろのたよりない声が出た。</p> <p>準六段 工 藤 円</p>    | <p>そのときだった。なんて顔してんの。土田君が話しかけてきたのだ。土田君とは家が近所で、小さいころからずっといっしょに遊んでいた。</p> <p>8 級 古 原 未 来</p>           | <p>そのときだった。なんて顔してんの。土田君が話しかけてきたのだ。土田君とは家が近所で、小さいころからずっといっしょに遊んでいた。</p> <p>準6級 塚 本 愛 奈</p>           | <p>そのときだった。なんて顔してんの。土田君が話しかけてきたのだ。土田君とは家が近所で、小さいころからずっといっしょに遊んでいた。</p> <p>6 級 吉 塚 みれい</p>             | <p>そのときだった。なんて顔してんの。土田君が話しかけてきたのだ。土田君とは家が近所で、小さいころからずっといっしょに遊んでいた。</p> <p>準5級 高 山 陽 向</p>           |
| <p>今、言わなきゃ、きつと二度と言えない。ぼく、晴れが好きだけれど、たまには雨も好きだ。勇気をふりしぼったわりには、しどろもどろのたよりない声が出た。</p> <p>六 年 今村佳之祐</p>   | <p>今、言わなきゃ、きつと二度と言えない。ぼく、晴れが好きだけれど、たまには雨も好きだ。勇気をふりしぼったわりには、しどろもどろのたよりない声が出た。</p> <p>準四段 田 嶋 才 也</p> | <p>今、言わなきゃ、きつと二度と言えない。ぼく、晴れが好きだけれど、たまには雨も好きだ。勇気をふりしぼったわりには、しどろもどろのたよりない声が出た。</p> <p>準四段 宇 佐 美 咲</p>  | <p>今、言わなきゃ、きつと二度と言えない。ぼく、晴れが好きだけれど、たまには雨も好きだ。勇気をふりしぼったわりには、しどろもどろのたよりない声が出た。</p> <p>四 段 松 村 桃 花</p> | <p>今、言わなきゃ、きつと二度と言えない。ぼく、晴れが好きだけれど、たまには雨も好きだ。勇気をふりしぼったわりには、しどろもどろのたよりない声が出た。</p> <p>準五段 福 本 蘭</p>   | <p>今、言わなきゃ、きつと二度と言えない。ぼく、晴れが好きだけれど、たまには雨も好きだ。勇気をふりしぼったわりには、しどろもどろのたよりない声が出た。</p> <p>五 段 金 子 優 菜</p>   | <p>今、言わなきゃ、きつと二度と言えない。ぼく、晴れが好きだけれど、たまには雨も好きだ。勇気をふりしぼったわりには、しどろもどろのたよりない声が出た。</p> <p>五 段 岸 川 結 璃</p> |
| <p>ダイコンのいちばん上の部分といちばん下の部分と比較すると下のほうが十倍も辛み成分が多いのです。ここには植物の知恵ともいえる理由がかくされています。</p> <p>六 段 中原 希 歩</p>  | <p>ダイコンのいちばん上の部分といちばん下の部分と比較すると下のほうが十倍も辛み成分が多いのです。ここには植物の知恵ともいえる理由がかくされています。</p> <p>六 段 伊 藤 海 利</p> | <p>ダイコンのいちばん上の部分といちばん下の部分と比較すると下のほうが十倍も辛み成分が多いのです。ここには植物の知恵ともいえる理由がかくされています。</p> <p>準特待生 広 末 夏 帆</p> | <p>ダイコンのいちばん上の部分といちばん下の部分と比較すると下のほうが十倍も辛み成分が多いのです。ここには植物の知恵ともいえる理由がかくされています。</p> <p>特待生 松 尾 楓 花</p> | <p>ダイコンのいちばん上の部分といちばん下の部分と比較すると下のほうが十倍も辛み成分が多いのです。ここには植物の知恵ともいえる理由がかくされています。</p> <p>二 段 木 村 和 香</p> | <p>ダイコンのいちばん上の部分といちばん下の部分と比較すると下のほうが十倍も辛み成分が多いのです。ここには植物の知恵ともいえる理由がかくされています。</p> <p>準三段 牟 田 知 未</p>   | <p>ダイコンのいちばん上の部分といちばん下の部分と比較すると下のほうが十倍も辛み成分が多いのです。ここには植物の知恵ともいえる理由がかくされています。</p> <p>三 段 中 山 愛 梨</p> |
| <p>ダイコンのいちばん上の部分といちばん下の部分と比較すると下のほうが十倍も辛み成分が多いのです。ここには植物の知恵ともいえる理由がかくされています。</p> <p>準五段 廣 瀬 千 夏</p> | <p>ダイコンのいちばん上の部分といちばん下の部分と比較すると下のほうが十倍も辛み成分が多いのです。ここには植物の知恵ともいえる理由がかくされています。</p> <p>準五段 松 尾 千 花</p> | <p>ダイコンのいちばん上の部分といちばん下の部分と比較すると下のほうが十倍も辛み成分が多いのです。ここには植物の知恵ともいえる理由がかくされています。</p> <p>五 段 岡 本 杏</p>    | <p>ダイコンのいちばん上の部分といちばん下の部分と比較すると下のほうが十倍も辛み成分が多いのです。ここには植物の知恵ともいえる理由がかくされています。</p> <p>五 段 玉 置 桜</p>   | <p>ダイコンのいちばん上の部分といちばん下の部分と比較すると下のほうが十倍も辛み成分が多いのです。ここには植物の知恵ともいえる理由がかくされています。</p> <p>準六段 浅 見 あ ん</p> | <p>ダイコンのいちばん上の部分といちばん下の部分と比較すると下のほうが十倍も辛み成分が多いのです。ここには植物の知恵ともいえる理由がかくされています。</p> <p>準六段 原 田 慧 衣</p>   | <p>ダイコンのいちばん上の部分といちばん下の部分と比較すると下のほうが十倍も辛み成分が多いのです。ここには植物の知恵ともいえる理由がかくされています。</p> <p>六 段 山 崎 結 月</p> |
| <p>ダイコンのいちばん上の部分といちばん下の部分と比較すると下のほうが十倍も辛み成分が多いのです。ここには植物の知恵ともいえる理由がかくされています。</p> <p>2 級 松 藤 夕 奈</p> | <p>ダイコンのいちばん上の部分といちばん下の部分と比較すると下のほうが十倍も辛み成分が多いのです。ここには植物の知恵ともいえる理由がかくされています。</p> <p>準二段 権 堂 晴 子</p> | <p>ダイコンのいちばん上の部分といちばん下の部分と比較すると下のほうが十倍も辛み成分が多いのです。ここには植物の知恵ともいえる理由がかくされています。</p> <p>二 段 山 下 愛 莉</p>  | <p>ダイコンのいちばん上の部分といちばん下の部分と比較すると下のほうが十倍も辛み成分が多いのです。ここには植物の知恵ともいえる理由がかくされています。</p> <p>準三段 権 藤 希 実</p> | <p>ダイコンのいちばん上の部分といちばん下の部分と比較すると下のほうが十倍も辛み成分が多いのです。ここには植物の知恵ともいえる理由がかくされています。</p> <p>三 段 藤 原 愛 未</p> | <p>ダイコンのいちばん上の部分といちばん下の部分と比較すると下のほうが十倍も辛み成分が多いのです。ここには植物の知恵ともいえる理由がかくされています。</p> <p>準四段 久 保 田 結 月</p> | <p>ダイコンのいちばん上の部分といちばん下の部分と比較すると下のほうが十倍も辛み成分が多いのです。ここには植物の知恵ともいえる理由がかくされています。</p> <p>四 段 浜 崎 佑 奈</p> |